

包括的生産サイクル支援による西アフリカ食料安全保障・ 栄養改善推進事業 [継続]

【46（51）百万円】

対策のポイント

西アフリカ地域において、小規模稲作農家に対する栄養改善を実現するため、栄養に関する基礎的知識の向上を農業支援と併せて実施します。

<背景/課題>

- ・西アフリカ地域の栄養不足人口は約3,040万人（2010-12年）、また低体重の子どもの割合は約20%と依然高い水準にあり、同地域の栄養改善は喫緊の課題となっています。
- ・我が国政府は「持続可能な開発目標（SDGs）推進本部」を設置し、栄養改善の実現を目標の一つとして取り組んでいるほか、栄養改善は第6回アフリカ開発会議の成果文書でも重要な課題として認識されており、当省においても主要な取組の一つです。
- ・西アフリカでは、人口の5割以上が農村地域に居住しており、これらの地域の小規模農家では、栄養に関する知識や意識が不足しています。一方、当面の食料と収入の確保に課題のある、これらの農民に対して効果的な栄養改善を行うためには、農業支援を通じ、食料確保と収入向上を図りながら栄養に関する啓発活動を行うことが有効です。

政策目標

- ・事業対象コミュニティにおいて、対象農民の8割が食品栄養群や日常的に摂取する食物の栄養価等、栄養に関する基礎的知識を習得
- ・事業対象コミュニティにおいて、農民グループ等を通じた米の販売が実施され、小規模農家の収入向上に寄与

<主な内容>

包括的营养改善支援

46（51）百万円

WFPが有する栄養改善に関する知見、西アフリカ農村地域における援助経験と現地のネットワーク、また、買い上げた農産物を支援物資として利用するWFPのスキーム（P4P：Purchase for Progress）を活用し、栄養に関する基礎的な知識向上を図る啓発活動と、小規模農家の収入向上につながる生産技術や販売スキルを向上させるための農業支援を同時に実施します。

（ 拠出先：国連世界食糧計画（WFP）
事業実施期間：平成29年度～平成33年度 ）

お問い合わせ先：

大臣官房海外投資・協力グループ （03-3502-5913）
国際機構グループ （03-3502-8498）

包括的生産サイクル支援による西アフリカ食料安全保障・栄養改善推進事業

事業概要・目的

【背景】

- 「経済財政運営と改革の基本方針2016」ではSDGs実施への積極的な取組を推進。政府は「持続可能な開発目標（SDGs）推進本部」を設置し、栄養改善の実現を目標の一つとして取り組んでいるところ。
- 栄養改善は第6回アフリカ開発会議（TICADVI）成果文書でも重要な課題として認識されている。
- 西アフリカの栄養不足人口は約3,040万人おり、栄養に関する知識・意識が不足。人口の5割以上が居住する農村部の小規模農家では栄養改善以前に収入向上が目の前の課題であり、農業が収入源となるために、持続可能な生産体制の構築も必要。

【目的】

栄養状態を改善するための啓発活動と、食料確保や収入向上につながる農業支援を同時に実施することで、西アフリカの小農の栄養状態を改善。

事業イメージ・具体例

WFP

WFP：国連の食料支援機関。食料支援のほか、これまでの当省拠出金事業では西アフリカにおいて農地の復旧支援を実施。

○ 栄養改善

栄養に関する基礎的な知識を習得し、日常生活で栄養改善に活かせるよう、農業指導と併せた啓発活動を実施。

○ 農業支援

米生産に係る技術研修を実施。WFPの支援用食料として当面の販売先を確保し、販売スキルの向上も促す。

パートナー機関

- ・ 現地政府機関
- ・ 国際機関
- ・ NGO 等

協力
⇄
研修の実施

日本

拠出
←

- 農民が食品栄養群や食物の栄養価について理解する
- 農民の食料確保と収入向上に寄与

期待される効果

- SDGsの達成に寄与（飢餓をゼロに／栄養改善）
- TICADVIのフォローアップ（栄養改善／農業生産性向上／生計向上）
- 将来的な我が国企業の進出を視野に入れた基盤整備

資金の流れ

